

北海道産移出用種馬鈴しょの情勢について

ホクレン農業協同組合連合会
種苗園芸部種苗課

1. 生産状況

種馬鈴しょ検査申請書の集計結果をみると、平成21年産の北海道の種馬鈴しょ生産面積は、556,132a（原種55,333a、採種500,799a）となっており、品種数は53品種（生食・調理用30品種、でん粉原料用7品種、加工食品用11品種、暖地生食用5品種）があります。

種馬鈴しょの多くは、北海道における馬鈴しょ生産に用いることを目的に生産されておりますが、移出用として都府県向けに出荷することを目的に生産される部分については、面積で118,054a、品種数で20品種ほどになります。

移出用種馬鈴しょの生産地は道内各地に分散しており、馬鈴しょの生産地にあつて青果出荷用やそれを生産するための更新用種馬鈴しょと併せて移出用を生産している地区もあれば、種馬鈴しょを専門に生産している地区もあります。現在、道内32産地、553名の生産者によって移出用種馬鈴しょが生産されております。

2. 出荷・販売状況

北海道産移出用種馬鈴しょについては、全道22農協が参加する「全道共計」による出荷・販売が主流となっております。平成21年の共計設置数量は1,288千袋/20kg換算で、取扱品種数は、一般品種13品種（男爵薯、メイクイン、キタアカリ、トヨシロ、ホッカイコガネ、とうや、農林1号、ワセシロ、ベニアカリ、十勝こがね、スタールビー、キタムラサキ、アンデス赤）と委託設置品種4品種（ニシユタカ、デジマ、アイユタカ、普賢丸）の合計17品種となっております。

委託設置品種については、購入地の設置要望に応じて生産するもので、事前に購入側と生産側で生産計画を調整し、購入側からの委託分のみを生産します。また、採種生産にあたっては、原種の

確保の関係から採種生産年の前々年には計画を示す必要があります。なお、これまでは一般品種として当年需要に対して出荷・販売対応を行ってきた農林1号とワセシロについては、平成22年産から委託設置品種となっております。

北海道産移出用種馬鈴しょの出荷先は全国各地となっておりますが、九州地区への出荷量が多い状況にあり、取扱数量の25%程度が九州地区への出荷となっております。それ以外には、関東・東海・東北地区などの青果出荷産地がある都府県向けの出荷量が多い状況にあります。販売先はJA全農向けが過半数を占めておりますが、これ以外に、種苗メーカー、各地の種苗店、ホームセンターなど量販店への販売を行っております。

3. 移出用種馬鈴しょをめぐる問題

移出用種馬鈴しょの取扱数量は、過去から比べると減少傾向となっております。その状況は現在も続いており、将来的にも予断を許さない状況です。

原因はいくつかありますが、最大の原因は都府県における馬鈴しょの作付減少に起因するものです。農地の減少（宅地化・商業地化・工業地化）、生産者の高齢化（離農・重量野菜作付敬遠）、作付意欲の減退（青果市況の低迷）などによって、日本国内における馬鈴しょの作付は減少しており、これにより種馬鈴しょの需要が縮小しております。

さらに種馬鈴しょの流通状況も過去から大きく変化しております。かつては営農用にまとまった数量を確保する必要があったことから、農協を通じての予約購買が積極的に行われておりましたが、近年では1戸当たりの購入量が縮小し、かつ当用で買い求める動きが強くなっており、利便性の良さからホームセンターなどの小量目パッケージ

ジ品を購入する状況が多くみられます。また、最近では農村地域へのホームセンターの出店が増加しており、ホームセンターなどからの購入機会はより増加しております。

一方、北海道内においても移出用種馬鈴しょ生産が縮小するような問題があります。一つは、ジャガイモシストセンチュウの発生拡大の問題です。現在も毎年のように新規に発生が確認されておりますが、移出用種馬鈴しょの生産地においてジャガイモシストセンチュウの発生が確認された場合、それが種馬鈴しょ生産圃場でない場合においても、行政区の「字」単位の同一地域内で発見された場合は、その地域内での移出用種馬鈴しょの生産はできなくなります（北海道種馬鈴しょ生産指導方針に基づく）。北海道においては一つの「字」の範囲が広大なため、広い面積で移出用種馬鈴しょの生産できなくなる懸念があります。

さらに、北海道内においても種馬鈴しょ生産農家の高齢化の問題が深刻化しつつあり、また、種馬鈴しょ生産は、青果用馬鈴しょ生産などと比較すると高度な栽培管理が必要となることなどから、後継者の確保がより難しい状況となっております。

4. 問題への対応と今後の方向について

北海道産移出用種馬鈴しょの取扱いにあたっては、共計参加農協の代表者で構成された「移出用種馬鈴しょ産地代表者会議」や産地農協の担当部課長で構成された「全道種馬鈴しょ取扱対策会議」などにおいて、定期的に協議・検討がなされております。

これまでも産地側における協議・検討を経て、①新品種の導入（過去7品種→現在17品種）、②出荷期間の延長（過去11月まで→現在翌年3月まで）、③小量目対応（20kg紙袋から10kgダンボールへの荷姿変更、5kg・3kg・2kg・1kgのパッケージ対応）、④複数産地・品種の積み合わせなど、需要の維持・拡大に向けた消費地要望への対応を行ってきた経過にあります。

当面の対応策として、需要減少に対しては需要に応じた供給数量となるような全体調整を行いつつ、一方では種馬鈴しょの需要増加につながるよ

うな啓発活動を行い、ホームセンターなどでの購入機会の増加を意識したPRを行なうことなどが検討されております。

また、ジャガイモシストセンチュウの発生拡大に対しては、蔓延防止について、行政・試験研究機関・関係団体などと連携した中でその対応にあたってはありますが、これにより移出用種馬鈴しょの生産ができなくなった場合の対応策についても、具体的な協議を図っているところであります。

需要・供給の両面において問題を抱える北海道産移出用種馬鈴しょであります。行政等の圃場検疫体制のもと生産された健全な種馬鈴しょを使用していただくことが、安定的な馬鈴しょの生産に結び付くことから、その使用をお願いするとともに、当課としても購入者のニーズに応えつつ、産地の持続的な生産・出荷が可能となるよう、関係者一丸となって問題解決に取り組みたいと考えております。

北海道原採種馬鈴しよ生産面積(3カ年)

「種馬鈴しよ検査申請書」集計結果より

	品種	主な用途	設置面積(単位:アール)								
			平成21年産			平成20年産			平成19年産		
			原種	採種	計	原種	採種	計	原種	採種	計
1	男爵薯	生食用	13,618	126,281	139,899	13,975	126,703	140,678	14,087	128,015	142,102
2	コナフブキ	でん粉原料用	10,238	86,285	96,523	10,389	88,045	98,434	11,374	91,288	102,662
3	トヨシロ	加工食品用	6,480	65,931	72,411	6,501	63,630	70,131	6,052	60,805	66,857
4	メークイン	生食用	6,792	63,932	70,724	6,794	64,375	71,169	6,749	64,865	71,614
5	キタアカリ	生食用	3,511	33,724	37,235	3,430	32,673	36,103	2,982	28,161	31,143
6	ホッカイコガネ	加工食品用	1,858	17,059	18,917	1,935	17,399	19,334	1,739	17,011	18,750
7	ニシユタカ	暖地・生食用	1,470	14,220	15,690	1,655	14,765	16,420	1,557	14,582	16,139
8	きたひめ	加工食品用	1,411	12,986	14,397	1,402	11,860	13,262	1,253	12,133	13,386
9	とうや	生食用	1,473	12,737	14,210	1,397	12,114	13,511	1,231	10,004	11,235
10	スノーデン	加工食品用	1,240	12,911	14,151	1,491	14,374	15,865	1,675	16,010	17,685
11	さやか	生食用	1,049	10,254	11,303	1,314	11,864	13,178	1,220	11,653	12,873
12	アーリースターチ	でん粉原料用	1,006	7,317	8,323	1,104	7,797	8,901	1,220	6,641	7,861
13	ワセシロ	生食用・加工食品用	484	4,800	5,284	680	6,384	7,064	842	8,027	8,869
14	農林一号	兼用	353	4,720	5,073	645	4,901	5,546	870	5,934	6,804
15	アスタルテ	でん粉原料用	371	3,366	3,737	380	2,917	3,297	413	2,729	3,142
16	オホーツクチップ	加工食品用	292	2,443	2,735	378	2,212	2,590	225	643	868
17	ノーキングラセット	加工食品用	247	2,235	2,482	212	2,176	2,388	307	2,431	2,738
18	紅丸	でん粉原料用	204	2,089	2,293	314	2,863	3,177	572	4,808	5,380
19	デジマ	暖地・生食用	347	1,610	1,957	289	1,655	1,944	240	2,520	2,760
20	こがね丸	加工食品用	545	1,366	1,911	346	550	896	97		97
21	十勝こがね	生食用	143	1,255	1,398	105	1,360	1,465	133	1,160	1,293
22	シンシア	生食用	120	1,150	1,270	120	1,000	1,120	100	730	830
23	サクラフブキ	でん粉原料用	163	1,045	1,208	137	852	989	105	455	560
24	インカのめざめ	生食用	148	1,050	1,198	128	800	928	160	990	1,150
25	ムサマル	加工食品用	110	1,051	1,161	200	700	900	168	620	788
26	ブレバレント	生食用	108	936	1,044	131	836	967	150	768	918
27	北海50号	生食用	100	800	900	100	850	950	100	900	1,000
28	マチルダ	生食用	90	800	890	70	720	790	70	690	760
29	ナツフブキ	でん粉原料用	166	700	866	187	1,393	1,580	347	2,732	3,079
30	エニワ	でん粉原料用	60	630	690	60	670	730	70	870	940
31	ベニアカリ	生食用	60	586	646	103	575	678	84	662	746
32	ひかる	生食用	53	510	563	53	520	573	53	470	523
33	アイユタカ	暖地・生食用	60	500	560	90	550	640	60	330	390
34	スノーマーチ	生食用	121	320	441	129	350	479	58	260	318
35	インカのひとみ	生食用	78	330	408	78	280	358	52	110	162
36	ゆきつぶら	生食用	88	280	368	80	156	236	60	60	120
37	はるか(北海94号)	生食用	123	220	343	60		60			
38	アンデス赤	生食用	40	290	330	80	260	340	110	560	670
39	レッドムーン	生食用	30	300	330	30	300	330	30	300	330
40	アトランチック	加工食品用	20	300	320	30	340	370	40	460	500
41	シャドークイーン	生食用	40	270	310	50	290	340	80	280	360
42	ノーザンビー	生食用	38	250	288	38	140	178	170	160	330
43	スタールビー	生食用	30	220	250	40	190	230	60	370	430
44	キタムラサキ	生食用	28	180	208	38	140	178	80	170	250
45	きたかむい(HPO1)	生食用	90	100	190	40		40			
46	花標津	生食用	23	160	183	43	110	153	32	130	162
47	ユキラシャ	生食用	10	100	110	20	50	70	20	90	110
48	シェポディー	加工食品用	10	100	110	10	60	70	10	100	110
49	アンドーバー	加工食品用	108		108						
50	さやあかね	生食用	28	70	98	48		48			
51	らんらんチップ	加工食品用	43		43	30		30	57		57
52	普賢丸	暖地・生食用	10	30	40	10	30	40	10	30	40
53	北海98号	生食用	5		5						
合計			55,333	500,799	556,132	56,969	502,779	559,748	57,174	502,717	559,891